



2020年5月25日

各位

会社名 明治機械株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中尾 俊哉
 (コード番号 6334 東証第二部)
 問い合わせ先 経営管理部次長 高工 弘
 (TEL. 03-5295-3511)

2020年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社が2019年11月13日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

通期業績予想値と実績値の差異

(1) 2020年3月期通期 連結業績予想数値と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	8,700	210	195	120	10円54銭
今回修正予想(B)	8,988	104	105	△267	△23円47銭
増減額(B-A)	288	△106	△90	△387	
増減率(%)	3.3%	△50.5%	△46.2%	—	
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	7,968	110	154	111	9円79銭

(2) 2020年3月期通期 個別業績予想数値と実績値の差異(2019年4月1日～2020年3月31日) 単位:百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	8,500	220	140	12円29銭
今回修正予想(B)	8,687	103	△268	△23円62銭
増減額(B-A)	187	△117	△408	
増減率(%)	2.2%	△53.2%	—	
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	7,651	139	99	8円71銭

(3) 差異の理由

① 売上高の状況

売上高は、環境関連事業において、新型コロナウイルス感染拡大の影響が投資マインドに反映し、デベロップ型太陽光発電の投資案件の売上が落ち込む一方、産業機械関連事業において、大・中規模のプラント工事案件の工事進行基準などによる売上が増加したため、全体としては予想に対して増収となりました。

② 利益(営業利益、経常利益、(親会社株主に帰属する)当期純利益)の状況

損益予想については、前述の環境関連事業の売上高の減少、産業機械関連事業では、当第2四半期以降に施工原価を見直して収益力は回復傾向にありましたが、予想を達成するまでには至りませんでした。

また、2020年4月6日に公表した「特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」で、当第4四半期において、新型コロナウイルス感染拡大の影響による株式市場の低落で投資有価証券評価損271百万円、ならびに繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額に24百万円(当期総額68百万円)を計上いたしました。これらにより、各段階利益はそれぞれ減益となりました。

以上